

オバントヨン

アピカホールから
あなたに

Vol.119

2026.1月-3月



1/17(土)

第164回しばざくらコンサート 県民芸術劇場
和楽器オーケストラあいおい「邦楽彩りキャンバス」

第165回
しばざくらコンサート
真冬の熱いクラシック
中村翔太郎とN響のステキな仲間たち
二月七日

■寄稿

中村翔太郎

中安修也 & 大西隆弘
ピアノジョイントリサイタル
「バルのひととき」に寄せて

一月二十二日

■寄稿

中安 修也

新・おんがく談義
■寄稿

頃安 利秀

音楽の話・輪・和・Wa
愛が溢れる「アピカホール」

西脇市立音楽ホール

Apika
アピカホール



2月7日(土) 14時開演 (13時開場)

第165回しばざくらコンサート

真冬の熱いクラシック ～中村翔太郎とN響のステキな仲間たち～

NHK交響楽団 首席代行ヴィオラ奏者 中村 翔太郎

ボナンタゴンをご覧の皆さま、こんにちは！NHK交響楽団のヴィオラ奏者、中村翔太郎です。今年も「真冬の熱いクラシック～中村翔太郎とN響のステキな仲間たち～」の季節がやってきました。今回は、5年ぶりにピアノを含む室内楽をお届けします。ステキなメンバーをご紹介します。

まず、ヴァイオリンは倉富亮太さん。西脇は2回目の登場です。彼の魅力は、何といつても音を操るセンス。曲ごとに繰り出す美しい音にぜひご注目ください。チェロは中実穂さん。私は、N響のチェリストで彼女の奏てる音が一番好きです。その魅力とともに、楽器が持つ音の奥深さもお楽しみください。

スペシャルゲストとして、ピアニストの新納洋介さんが登場します。私が大学生の頃から、いつか一緒に共演したいと願っていた方です。何故か、その理由は会場でお話ししたいと思います。彼が長年研究してきたブルームスを中心演奏します。

演奏曲目は以下の通りです。

まず、ドヴォルザークのユモレスク。昨年5月にプラハで見つけたピアノ四重奏版をお楽しみください。次に、弦楽三重奏のエネス

三田公演のお知らせ

真冬の熱いクラシック vol.15 ～中村翔太郎とN響のステキな仲間たち～

2月8日(日) 14時開演 (13時開場)

三田市総合文化センター 郷の音ホール 小ホール

倉富 亮太 (NHK交響楽団 次席ヴァイオリン奏者)

リピッツァー国際コンクール第2位と特別賞、シゲティ国際コンクールに入賞。東京藝術大学弦楽科を首席で卒業し、修士課程修了。ロームミュージックファンデーションの奨学生。ソロや室内楽の活動に加え、日本大学管弦楽団や東京ジュニアオーケストラの指導も行う。2022年に五十嵐紅トリオを結成し、毎年全国ツアーを行い、複数のアルバムをリリースしている。



中村 翔太郎
(NHK交響楽団 首席代行ヴィオラ奏者)

兵庫県三田市出身。4歳からヴァイオリンを学び、東京藝術大学附属音楽高校入学を機にヴィオラに転向。佐藤紀子、菊池佳奈子、東儀幸、近藤緑、若林暢、百武由紀、川崎和憲に師事。第15回コンセール・マロニエ21弦楽器部門第1位をはじめ、数々の賞を受賞。セイジオザワ松本フェスやサント・ヨーロッパ音楽祭に出演、ウィーンフィルやベルリンフィルと共に演奏する。東京藝術大学卒業、グラチア音楽賞を受賞。東京ジュニアオーケストラ講師。



中 実穂 (東京チェロアンサンブルメンバー、NHK交響楽団 次席奏者)

京都市出身。5歳から始め、桐朋女子高等学校音楽科を経て桐朋学園大学音楽学部を卒業。東京藝術大学大学院音楽研究科修士課程修了。2010年渡独し、ベルリン芸術大学で研鑽を積む。国家演奏家資格を取得し2012年に帰国。これまでにチェロを津田朝子、井上頼豊、松波恵子、山崎伸子、マルクス・ニコシュの各氏に師事。室内楽を毛利伯朗、岡山潔、山崎伸子、クアルテット・エクセルシオに師事。第8回ビバホールチェロコンクール第4位、第77回日本音楽コンクール入選。



新納 洋介 (ピアノ)

東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て、同大学音楽学部を卒業。その後、パリ地方国立音楽院上級コースを審査員満場一致の一等賞で修了し、フランス国家演奏家資格を得る。第49回マリア・カナルス国際コンクール第2位、パリ・マドレーヌ・ドゥ・ヴァルマルトゥピアノコンクール第1位、フランス国際音楽コンクール室内楽部門第1位など、様々な国際コンクールで上位入賞。ロシア国立マリインスキイ劇場沿海舞台交響楽団をはじめ、内外のオーケストラと共に演奏。準・メルクル氏指揮による国立音楽大学第139回オーケストラ定期演奏会にてソリストを務める。現在、国立音楽大学及び大学院准教授、相模原弥栄高校音楽科非常勤講師。



©武藤章

2月22日(日) 14時開演 (13時30分開場)

中安修也&大西隆弘

ピアノジョイントリサイタル「ワルツのひととき」に寄せて

兵庫県立太子高等学校教諭・ピアニスト 中安 修也

師でもある大西氏との出会いから今年で25年になり、随分と月日が経ったものだと改めて感じています。2人の演奏会も今回で6回目となり、確実に自分たちの演奏活動に充実さが増しているような気がして、嬉しく思うと同時に、大変に有難く思う次第です。

今回、初の試みとして、演奏会の全ての演目を「ワルツ」で統一し、プログラムを組んでみました。これは、昨年の演奏会終了直後に2人で反省会をした時に、私が提案したものです。ワルツは“円舞曲”と言われるように、3拍子の、主に舞踏をすることを想定して書かれた曲のことを言いますが、今回は、様々なキャラクターのワルツを取り上げてみました。

第1部で最初に演奏するドリーブの『コッペリアのワルツ』は、優雅でまさに踊るための“バレエのワルツ”。次に演奏するウェバーの『舞踏への勧誘』は、19世紀に隆盛したウィンナ・ワルツの嚆矢（こうし）となった作品。そして、第1部の最後に演奏されるリストの『メフィスト・ワルツ第1番』は、「村の居酒屋での踊り」との副題があるように、ロマン派特有の文学的靈感の強い“狂喜乱舞”的世界が繰り広げられます。

第2部は全てショパンのワルツを集めました。『華麗なる大円舞曲』などの舞踏本来の

姿を想起させる華やかな作品や、ワルツのリズムを借りて心の内を吐露する感傷的な作品など、ショパンの世界の一端を垣間見ることが出来ると思います。

第3部の最初は、恒例となっている連弾ですが、今年はヨハン・シュトラウス2世の『美しき青きドナウ』を取り上げます。この作品に関しては、あまりにも有名ですので改めての説明は不要だと思いますが、今回の演奏会のタイトルである「ワルツのひととき」の基調となる作品だと思います。次のフォーレの『ヴァルス・カプリス第2番』は、19世紀フランスのピアノ・ワルツの中でも充実した作品とされ、その伝統は、最後に演奏するラヴェルの『ラ・ヴァルス』に繋がっていき、『ラ・ヴァルス』では曲が進むにつれて徐々にワルツのリズムが崩れていきます。

是非、これらの様々なワルツの世界観を聴きに来ていただければ幸いです。また、私のとても個人的な感覚としては、このワルツが持つ“回転性”というのに、巡りめぐる人生の移ろいのようなものを重ね見るような気がしてなりません。言葉にするのはなかなか難しいのですが、そんなことに思いを馳せながら準備を進めております。

2月22日のご来場を心よりお待ちしております。



中安 修也

兵庫県小野市出身。兵庫県立西宮高等学校音楽科を経て、愛知県立芸術大学音楽学部音楽科器楽専攻ピアノコースを卒業。桐朋学園大学院大学音楽研究科演奏研究専攻を修了。第15回兵庫県学生ピアノコンクールD部門奨励賞、併せて兵庫県教育委員会賞受賞。第17回兵庫県学生ピアノコンクールE部門最優秀賞、併せて兵庫県知事賞、NHK神戸放送局長賞受賞。第12回神戸新人音楽賞コンクールピアノ部門優秀賞。第38、42回飯塚新人音楽コンクールピアノ部門入選。第8回下田国際音楽コンクールプロフェッショナル部門奨励賞。桐朋アカデミー・オーケストラ、千里フィルハーモニア・大阪と共に演。また、兵庫県高等学校独唱独奏コンクール、日本クラシック音楽コンクールの審査委員を務める。これまでに、ピアノを森川久美、大西隆弘、井澤利、小原久幸、重松正大、若林顕、上田晴子、岡田博美の各氏に、室内樂を上田晴子、藤原浜雄、銅銀久弥の各氏に、作曲を新実徳英、鈴木輝昭の各氏に師事。現在、兵庫県立太子高等学校教諭。日本ピアノ教育連盟会員、日本音楽教育学会会員、神戸音楽家協会会員。

大西 隆弘

大阪音楽大学音楽学部器楽学科ピアノ専攻卒業。同大学大学院音楽研究科器楽専攻ピアノソロ研究室修了。日本ピアノ教育連盟オーディション奨励賞、和歌山音楽コンクール優秀伴奏者賞受賞。ザ・カレッジオペラハウス管弦楽団、テレマン室内管弦楽団と協演。現在、梅花女子大学准教授、佛教大学非常勤講師。日本ピアノ教育連盟会員。



コンサートのお知らせ

Stella☆Apika サロンコンサート ～日本のうた・日本の曲～

1月25日(日)

11時開演 (10時45分開場)

入場料 500円 (駐車場代別途)

出演 中辻 史子 (ソプラノ) 笹倉 りの (ヴァイオリン)

服部 文子 大谷 幸 中安 修也 (ピアノ)

今回は「雪の降るまちを」「ちいさい秋見つけた」「めだかの学校」「夏の思い出」「エチュード・アレグロ」など、馴染みのある数々の作品を生み出した中田喜直さんの作品を中心に、歌、ヴァイオリン、ピアノソロ、連弾でお届けします。

3月もサロンコンサートを開催予定です！お楽しみに♪



音楽に寄せて

♪5 音楽と共に歩んだ人生（その4）

声楽家（テノール）頃安利秀

私たちの周りには音楽が溢れています。どんな音楽と出会って、どんな音楽によって慰められ、励まされ、生きる勇気を与えられるかは、その人の人生の中で決して小さなことではありません。音楽と共に歩んだ人生、今回は東京芸術大学（以下芸大）に挑戦するところからの話です。

関西学院大学の卒業論文もやっと提出し、芸大入試に必要なピアノ実技とソルフェージュ（コールユーブンゲンと新曲視唱）に必死で取り組んではいましたが、不安を残したままついに芸大の入学試験の時が来てしまいました。1976年（昭和51年）の3月、試験は4次試験まであり、1次試験で声楽の自由曲、2次試験でコールユーブンゲンと新曲視唱、3次試験で自由曲と課題曲、最後に副科ピアノ実技試験と楽典、聴音、そして学科試験（国語と社会と英語）です。当時は、まだ共通一次試験のようなものではなく、学科試験は最後に申し訳程度についていました。

私は、自由曲にシーベルトの歌曲集「美しい水車小屋の娘」から「仕事を終えて」というドイツ語の歌曲、課題曲にもドイツ語の歌曲を選びました。イタリア語の歌曲やオペラ・アリアを歌う受験生が多い中、少し風変わりな受験生だったのかも知れません。そのことが功を奏したのかどうかはわかりません

が、難関を突破することができました。その時の合格発表の掲示板の写真を証拠（？）として付けておきました。

試験中には色々と面白いことがありました。新曲視唱の時に、受験番号順に1人ずつ呼び出されて試験室で歌っていくのですが、先に受験した人が控え室に戻ってくると、どんな曲だったかという情報を少しづつ漏らしてくれるのです。最後の方になると試験室で初めて見るはずの新曲を控室に残っている者で合唱するという始末で、最後の方の受験生は随分得をしたと思います。そんなことも許される（？）時代でした。

入学後は、大好きな音楽中心の生活が始まりましたが、特に声楽という分野は、どの先生に教えてもらうか、または先生との相性はどうかによって将来進むべき道が左右されます。当然のことですが、いくら天下の芸大を出たからといって、みんながプロの音楽家になれる訳ではありません。また芸大の中だけで音楽の勉強のすべてが完結するわけでは



なく、むしろその後にどのように音楽の仕事に繋げていくかの方が重要です。私の周りを見ても、芸大を出た後イタリアやドイツで仕事を見つけて活躍した人の多くは、芸大以外で、所謂ヴォイストレーナと言われる専門家に发声を教えてもらうか、または留学先で自分に合った先生を見つけて力をつけた人たちです。私の場合も、芸大在学中に出会ったヴォイストレーナの指導によって、ドイツに留学する決心がついた一人でした。

そうやって難関を突破し芸大で一緒に学んだ仲間（卒業生60人中24人）が、久しぶりに上野の精養軒というレストランに集まりました。私たちのクラスは年齢巾が広く、18歳現役で入った者から、浪人生活を重ね28歳でやっと入った者までいました。仲間の中にはドイツの歌劇場でソリストとして活躍した者、

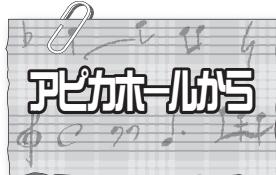
某芸大の学長になった者、母校の芸大で教授になった者もいます。しかし芸大を出たからといって、芸大が仕事を世話をしてくれる訳ではないので、それぞれ自分の道を見つけて生きてきました。全く音楽とは関係のない職業についた者もいましたが、みんな今も音楽を愛し、生き生きとしている様子を見ることができ、楽しいひとときを過ごすことができました。



プロフィール 頃安利秀（ころやすとしひで）

多可郡多可町八千代区出身。

関西学院大学文学部美学科を経て東京藝術大学声楽科を卒業。1982年にドイツ・デトモルト音楽大学に留学し、1985年よりチューリッヒ歌劇場、1988年よりバイエルン放送局の合唱団員として専属契約。またテノール独唱者としてもヨーロッパ各地で活躍。1991年に帰国、鳴門教育大学に着任し、2024年3月まで同大学教授として教育活動を続ける。鳴門教育大学名誉教授。現在、多可町中区に在住、北はりま第九合唱団や合唱団「コーラ・キアーロ」等の合唱や発声の指導を行っている。



♪コンサートのお知らせ♪

楽しい音楽の時間をご一緒にいかがですか？

1月17日(土) 午前

令和7年度伝統文化親子教室事業
アピカでつなぐ伝統文化★教室の部★
作品展示&発表会

作品展示（ホワイエ） 9時30分～16時
発表会（アピカホール） 10時30分～11時30分
入場無料（駐車券代別途）

3月8日(日)

第10回 アピカ児童合唱団・混声Coroアピカ
定期演奏会

ポピュラーソングからクラシックまで、幅広く披露します。ご指導いただいている先生方のステージもあります。
13時30分開演（13時開場）
入場料 一般 2,000円 中学生以下 1,000円

宿泊・宴会・レストラン
皆様を心よりお待ちしております

西脇ロイヤルホテル

Daiwa House Group®

〒677-0015 西脇市西脇 991
TEL.0795-23-2000 FAX.0795-23-8604

詳しくはオフィシャルホームページで
<http://www.nishiwaki-royalhotel.jp> 西脇ロイヤルホテル 検索

1月17日(土) 午後

第164回しばざくらコンサート 県民芸術劇場
和楽器オーケストラあいおい
「邦楽彩りキャンバス」

15時開演（14時30分開場）
入場料 一般 3,000円 高校生以下 1,500円

3月28日(土)

アピカホール弦楽アンサンブル教室
Apika Junior Strings
第14回コンサート

子どもたちの練習の成果をぜひお聴きください。
15時開演（14時45分開場）
入場無料・整理券配布（駐車場代別途）

総合建設業 一級建築士事務所
国土交通大臣認定鋼構造物製作工場
あんしん住宅瑕疵保険届出事業者



WAIKI CONSTRUCTION CO.,LTD.
 和み建設 株式会社

〒677-0018 西脇市富田町36
電話 0795-22-5651(代)

アピカホール
開館30周年記念事業

♪出演者募集♪

都合により開催できなくなる場合があります。



眠っている楽器を呼び覚まそう！久々に楽器を演奏したい方のご応募お待ちしています！

コンサート日：9月13日(日)

対象：吹奏楽及びオーケストラ関連の楽器による室内楽のアンサンブル。

参加費：5,000円（2名）、10,000円（3名以上）

申込期間：4月2日(木)～5月22日(金)

※出演ご検討の方対象 無料管楽器診断会

→まずは、お家で眠っている楽器を点検・診断してみませんか？

曰時：2月14日(土) 13時30分～

申込期間：2月6日(金) 15時まで

※管楽器のみの診断会です。



(<http://www.nishiwaki-cs.or.jp/apikahall/event/001283.html>)



世界の名器スタインウェイピアノを広く子どもたちにも弾いてもらいたいと願い、開館当初から開催しています。

コンサート日：8月22日(土) 午前の部／午後の部（申込締切後決定）

対象：西脇市在住又は市内でピアノを習っている幼児4歳（2022年4月生まれ）から高校生（18歳）まで（令和8年（2026年）4月現在）
連弾、ピアノと声楽・管楽器・弦楽器との共演も可能

参加費：無料

募集数：先着65組 ※定員に満たない場合は、HPで追加募集することもあります。

申込方法：申込書に必要事項をご記入の上、郵送又はご持参ください。（FAX可）

申込期間：2月3日(火)～3月3日(火) 正午（必着）

説明会：4月4日(土) 午前10時30分～（10時15分 受付開始）



今も音楽を続けている方も、いない方も、再びスタインウェイを奏でてみませんか？

コンサート日：8月22日(土) 第30回「リトルピアニストの大っきなコンサート」同日開催

対象：過去の「リトルピアニストの大っきなコンサート」に出演経験のある高校生以上の方。

募集数：10組程度

参加費：無料（駐車場代別途）

申込期間：2月3日(火)～3月3日(火) 正午

(<http://www.nishiwaki-cs.or.jp/apikahall/event/001287.html>)



アピカホールでは、地元出身で音楽系大学等を卒業するみなさんの今後の活躍を期待し、支援することを目的として開催します。

コンサート日：4月19日(日) 午後3時開演（予定）

対象：北播磨地域（西脇市、加東市、小野市、加西市、三木市、多可町）出身で、令和7年3月末に音楽系大学又は学科（短期大学を含む全てのコース）を卒業した方、又は令和8年3月末に卒業予定の方

参加費：入場券30枚までの負担があります。（入場料1,000円 当日券同額）

演奏時間：15分程度

申込締切：2月5日(木)（必着）



アピカホール 催しガイド 1月～3月

1月～3月

休館日：毎週水曜日（祝日の場合翌日） 年末年始12月29日（月）～1月3日（土）

月／日(曜日)	催物内容	時間	入場料等	主催・問合せ	特集記事
1/11(日)・ 12(月祝)	令和7年度優秀映画鑑賞推進事業新春アピカ名画座 35mmフィルムで「小津安二郎監督作品集」 11日10時「彼岸花」 14時「麦秋」 12日10時「秋刀魚の味」14時「東京物語」	各日 10:00上映 14:00上映 (各回30分前開場)	各回500円 (駐車場代別途)	アピカホール ☎0795-23-9000	
1/17(土)	令和7年度伝統文化親子教室事業 アピカでつなぐ伝統文化2025★教室の部★ 発表会&作品展示	作品展示(ホワイエ) 9:30～ 発表会(ホール) 10:30開演	無料 (駐車場代別途)	アピカホール ☎0795-23-9000	P8
1/17(土)	第164回しばざくらコンサート 県民芸術劇場 和楽器オーケストラあいおい「邦楽彩りキャンバス」	15:00開演 (14:30開場)	一般 3,000円 高校生以下 1,500円	アピカホール ☎0795-23-9000	P8
1/25(日)	Stella☆Apika サロンコンサート ～日本のうた・日本の曲～ (会場:ホワイエ)	11:00開演 (10:45開場)	500円 (駐車場代別途)	アピカホール ☎0795-23-9000	P5

1/25(日)午後 臨時休館

アピカホール 開催時休館					
2/7(土)	第165回しばざくらコンサート 真冬の熱いクラシック ～中村翔太郎とN響のステキな仲間たち～	14：00開演 (13：00開場)	一般 3,000円 大学生以下 1,000円 全席指定	アピカホール ☎0795-23-9000	P2~3
2/22(日)	中安修也＆大西隆弘 ピアノジョイントリサイタル～ワルツのひととき～	14：00開演 (13：30開場)	一般 2,000円 高校生以下 1,000円	アピカホール ☎0795-23-9000	P4~5
2/22(日)	響け！輝け！日本の中心から！ 第5回ミュージックベルトーンチャイム全国コンテスト 会場：西脇市市民交流施設オーラナスホール	13：00開演 (12：30開場)	全席自由席 入場無料 ※整理券が必要	ミュージックベルトーンチャイム 全国コンテスト事務局 ☎0795-22-5715	P11
3/1 (日)	なちゅれ音楽学校ヴァイオリン科 第2回 音楽会	13：00開演 (12：30開場)	関係者	西山 枝里 ☎080-1423-9516	
3/8 (日)	アピカ児童合唱団・混声Coroアピカ 第10回定期演奏会	13：30開演 (13：00開場)	一般 2,000円 中学生以下 1,000円	アピカホール ☎0795-23-9000	P8
3/14(土)	劇団四季ファミリー「ミュージカル 『カモメに飛ぶことを教えた猫』」 会場：西脇市市民交流施設オーラナスホール	17：30開演 (16：45開場)	西脇市民先行予約 一般 5,500円 中学生以下 3,000円 一般発売 一般 6,000円 中学生以下 3,000円	(公財)西脇市 文化・スポーツ振興財團 ☎0795-22-5715	P11
3/21(土)	2026春のカルチャーフェスティバル 市民音楽祭	13：30開演 (13：00開場)	500円 (駐車場代別途)	西脇市教育委員会生涯学習課 ☎0795-22-3111	
3/28(土)	Apika Junior Strings 第14回 コンサート	15：00開演 (14：45開場)	無料 (駐車場代別途)	アピカホール ☎0795-23-9000	P8

★主催者の都合により変更になる場合があります。内容についてのご質問は、各主催者までお問い合わせください。



■交通アクセス

<バス>中国ハイウェイバス西脇営業所行き

「西脇」下車すぐ。

三ノ宮～西脇線（神姫）「西脇」下車すぐ。

JR加古川線「西脇市駅」より徒歩約20分

中国自動車道

■編集：ボナンタゴン編集委員会

■発行：西脇市立音楽ホール「アピカホール」
ボナンタゴン：こんにちは
(エスペラント語)

〒677-0015 兵庫県西脇市西脇991

TEL(0795)23-9000 FAX(0795)23-903

<http://www.nishiwaki-cs.or.jp/apikahall/>
E-mail : apikahall@ever.ocn.ne.jp

このガイドは2025年11月1日現在の資料を元に編集しており、内容は変更される場合があります。無断での転載を禁じます。

アピカホール ボナンタゴン 検索 ←ホームページでもご覧いただけます